平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月11日

上場会社名　株式会社 レイ　　上場取引所　大
コード番号　4317　URL　http://www.ray.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 分部　至郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　(氏名) 中村　準三　TEL 03-5410-3861

四半期報告書提出予定日　平成24年10月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	5,337	30.1	494	108.9	466	137.2	248	638.4
24年2月期第2四半期	4,100	8.7	236	23.3	196	23.4	33	△57.3

(注)包括利益　25年2月期第2四半期　247百万円　(683.3%)　24年2月期第2四半期　31百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第2四半期	19.52	19.41
24年2月期第2四半期	2.64	2.64

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第2四半期	7,326	2,512	33.8
24年2月期	6,703	2,328	34.2

(参考) 自己資本　25年2月期第2四半期　2,477百万円　24年2月期　2,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	―	0.00	―	5.00	5.00
25年2月期	―	0.00			
25年2月期(予想)			―	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 2月期の連結業績予想(平成24年 3月 1日～平成25年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,800	2.9	700	△22.1	600	△28.7	320	△13.0	25.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年2月期2Q	14,328,976 株	24年2月期	14,328,976 株
② 期末自己株式数	25年2月期2Q	1,583,902 株	24年2月期	1,591,827 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年2月期2Q	12,739,875 株	24年2月期2Q	12,737,209 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……3
（１）追加情報 ……3
３．四半期連結財務諸表 ……4
（１）四半期連結貸借対照表 ……4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……6
四半期連結損益計算書 ……6
四半期連結包括利益計算書 ……7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……8
（４）継続企業の前提に関する注記 ……9
（５）セグメント情報等 ……9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……10
（７）重要な後発事象 ……10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災からの復興需要等を背景に緩やかな回復基調で推移してきましたが、長引く欧州の債務問題、中国などの新興国の景気の減速、円高の長期化、個人消費の伸び悩み等景気の下振れリスクが潜在している状況が続き、景気の先行き不透明感が強まっております。

当社グループの主要な市場である広告業界におきましても、市場環境は緩やかに回復しつつありましたが、景気の先行き不透明感が増す状況にあって、景気動向と密接な関係にある広告市場も同様の状況が継続しております。

このような経済、市場環境のもと、当社グループは、積極的な営業活動を展開し、業績の向上に努めた結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高は5,337百万円（前年同期比30.1％増）、営業利益は494百万円（同108.9％増）、経常利益は466百万円（同137.2％増）、四半期純利益は248百万円（同638.4％増）となりました。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりであります。

広告ソリューション事業におきましては、ＳＰ（セールスプロモーション）・イベント部門、ＴＶＣＭ（テレビコマーシャル）部門ともに、市場環境が緩やかに回復しつつある中、業績は堅調に推移し、昨年同時期、震災の影響を受けたＳＰ・イベント部門の業績が大幅に改善した結果、広告ソリューション事業の売上高は2,597百万円（同21.2％増）、営業利益は250百万円（同62.5％増）となりました。

テクニカルソリューション事業におきましても、映像機器レンタル部門、ポストプロダクション部門ともに、市場環境が回復した結果、業績は堅調に推移し、ＳＰ・イベント部門同様、震災の影響を受けた映像機器レンタル部門が、業績を大幅に改善したこと等もあり、テクニカルソリューション事業の売上高は2,739百万円（同39.9％増）、営業利益は464百万円（同57.5％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の状況

（資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べて8.3％増加し4,878百万円となりました。これは主に、現金及び預金が283百万円、受取手形が88百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて11.3％増加し2,447百万円となりました。これは主に、リース資産の増加や自社ビル建設に伴う建設仮勘定の増加等により有形固定資産が231百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて9.3％増加し7,326百万円となりました。

（負債）

流動負債は前連結会計年度末に比べて15.1％増加し3,289百万円となりました。これは主に未払法人税等が209百万円、未払金が113百万円減少したものの、短期借入金が720百万円、リース債務が55百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて0.5％増加し1,524百万円となりました。これは主に、長期借入金が130百万円減少したものの、長期リース債務が138百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて10.0％増加し4,814百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は前連結会計年度末に比べて7.9％増加し2,512百万円となりました。これは主に、配当により63百万円減少したものの、四半期純利益の計上248百万円により利益剰余金が184百万円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比べて283百万円増加し、当第２四半期連結会計期間末は1,933百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は35百万円（前年同期は703百万円の獲得）となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益456百万円及び減価償却費145百万円の計上がありましたが、法人税等の支払額400百万円、その他流動負債の減少額128百万円、売上債権の増加額104百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は152百万円（前年同期比9.4％減）となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出153百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は471百万円（前年同期比41.0％減）となりました。

これは主に、リース債務の返済による支出70百万円、配当金の支払額62百万円がありましたが、長短借入金の借入額（純額）603百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年２月期の連結業績予想につきましては、平成24年10月３日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当第２四半期連結累計期間の「貸倒引当金戻入額」は、「販売費及び一般管理費」及び「営業外収益」に計上しておりますが、前第２四半期連結累計期間については、遡及処理を行っておりません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,649,574	1,933,411
受取手形	133,931	222,637
売掛金	2,139,663	2,156,195
たな卸資産	292,152	307,056
繰延税金資産	140,210	132,448
前払費用	102,874	101,837
その他	58,898	39,392
貸倒引当金	△14,076	△14,223
流動資産合計	4,503,229	4,878,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	261,979	239,950
減価償却累計額	△206,964	△202,055
建物及び構築物（純額）	55,015	37,894
機械装置及び運搬具	907,696	919,476
減価償却累計額	△586,484	△637,214
機械装置及び運搬具（純額）	321,211	282,262
工具、器具及び備品	260,714	264,612
減価償却累計額	△204,546	△213,440
工具、器具及び備品（純額）	56,168	51,171
土地	1,109,883	1,109,883
リース資産	442,618	661,439
減価償却累計額	△127,135	△161,532
リース資産（純額）	315,482	499,907
建設仮勘定	15,262	123,442
有形固定資産合計	1,873,024	2,104,562
無形固定資産		
ソフトウエア	38,357	43,437
その他	7,836	8,327
無形固定資産合計	46,194	51,765
投資その他の資産		
投資有価証券	40,843	38,578
出資金	10,973	1,642
長期貸付金	5,018	5,018
破産更生債権等	33,200	32,392
長期前払費用	326	162
敷金及び保証金	188,583	206,322
繰延税金資産	39,199	44,047
その他	900	900
貸倒引当金	△38,218	△37,410
投資その他の資産合計	280,827	291,654
固定資産合計	2,200,045	2,447,982
資産合計	6,703,275	7,326,736

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年２月29日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年８月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	921,403	900,741
短期借入金	580,000	1,300,000
1年内返済予定の長期借入金	232,200	246,500
リース債務	115,404	170,772
未払法人税等	361,885	152,763
賞与引当金	186,549	193,204
未払金	277,722	164,043
未払消費税等	62,790	29,774
未払費用	47,123	60,676
預り金	14,945	20,680
その他	58,339	50,192
流動負債合計	2,858,363	3,289,349
固定負債		
長期借入金	1,273,634	1,143,234
リース債務	219,126	357,358
その他	24,146	24,404
固定負債合計	1,516,907	1,524,996
負債合計	4,375,271	4,814,345
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	472,806	473,262
利益剰余金	1,623,106	1,808,094
自己株式	△273,691	△272,332
株主資本合計	2,293,364	2,480,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,540	△2,789
その他の包括利益累計額合計	△1,540	△2,789
新株予約権	36,180	35,012
純資産合計	2,328,004	2,512,390
負債純資産合計	6,703,275	7,326,736

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年８月31日）
売上高	4,100,903	5,337,254
売上原価	2,823,526	3,647,703
売上総利益	1,277,376	1,689,551
販売費及び一般管理費	1,040,488	1,194,750
営業利益	236,888	494,800
営業外収益		
受取利息	54	62
受取配当金	1,650	1,670
その他	4,233	3,425
営業外収益合計	5,938	5,159
営業外費用		
支払利息	12,176	18,788
出資金運用損	31,341	13,386
その他	2,650	1,215
営業外費用合計	46,167	33,390
経常利益	196,659	466,569
特別利益		
固定資産売却益	148	9,492
貸倒引当金戻入額	1,517	－
新株予約権戻入益	－	584
特別利益合計	1,665	10,076
特別損失		
固定資産売却損	183	－
固定資産除却損	516	176
減損損失	－	19,818
過年度著作権使用料	62,540	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24,679	－
特別損失合計	87,920	19,995
税金等調整前四半期純利益	110,404	456,650
法人税、住民税及び事業税	50,891	204,884
法人税等調整額	25,834	3,092
法人税等合計	76,725	207,976
少数株主損益調整前四半期純利益	33,678	248,673
四半期純利益	33,678	248,673

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年８月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	33,678	248,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,092	△1,248
その他の包括利益合計	△2,092	△1,248
四半期包括利益	31,586	247,425
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,586	247,425
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成23年３月１日 至 平成23年８月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成24年３月１日 至 平成24年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	110,404	456,650
減価償却費	128,600	145,953
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24,679	－
長期前払費用償却額	1,385	163
株式報酬費用	2,001	－
減損損失	－	19,818
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,650	△660
賞与引当金の増減額（△は減少）	△26,097	6,654
受取利息及び受取配当金	△1,705	△1,733
支払利息	12,176	18,788
出資金運用損益（△は益）	31,341	13,386
固定資産売却損益（△は益）	35	△9,492
固定資産除却損	516	176
売上債権の増減額（△は増加）	528,588	△104,493
たな卸資産の増減額（△は増加）	113	△14,904
長期前払費用の増減額（△は増加）	17,652	－
仕入債務の増減額（△は減少）	△59,433	△20,661
その他の流動資産の増減額（△は増加）	20,013	△6,289
その他の流動負債の増減額（△は減少）	17,901	△128,107
その他	8,643	△1,729
小計	815,167	373,521
利息及び配当金の受取額	1,705	1,733
利息の支払額	△11,638	△17,118
法人税等の支払額	△102,177	△400,928
法人税等の還付額	－	7,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	703,056	△35,313
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△133,520	△153,220
有形固定資産の売却による収入	2,714	32,053
ソフトウエアの取得による支出	△4,866	△19,452
出資金の払込による支出	△35,771	△9,555
出資金の回収による収入	2,505	14,780
敷金及び保証金の差入による支出	△401	△17,738
その他	706	417
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168,633	△152,716
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	4,380,000	3,000,000
短期借入金の返済による支出	△3,980,000	△2,280,000
リース債務の返済による支出	△29,045	△70,658
長期借入れによる収入	500,000	－
長期借入金の返済による支出	△20,840	△116,100
自己株式の取得による支出	－	△16
ストックオプションの行使による収入	－	1,248
配当金の支払額	△49,791	△62,606
財務活動によるキャッシュ・フロー	800,322	471,866
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,334,746	283,836
現金及び現金同等物の期首残高	737,807	1,649,574
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,072,553	1,933,411

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間(自 平成23年３月１日 至 平成23年８月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,142,652	1,958,251	4,100,903	―	4,100,903
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,343	212,057	213,401	△213,401	―
計	2,143,996	2,170,308	4,314,304	△213,401	4,100,903
セグメント利益	154,064	294,867	448,932	△212,043	236,888

（注）１ セグメント利益の調整額△212,043千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間(自 平成24年３月１日 至 平成24年８月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,597,276	2,739,978	5,337,254	―	5,337,254
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,400	145,944	147,344	△147,344	―
計	2,598,676	2,885,922	5,484,599	△147,344	5,337,254
セグメント利益	250,321	464,504	714,825	△220,024	494,800

（注）１ セグメント利益の調整額△220,024千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
２ セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「テクニカルソリューション事業」において、移転予定事業所の建物等に係る減損損失19,818千円を当第２四半期連結累計期間に計上しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（７）重要な後発事象

共通支配下の取引等

当社は、平成24年９月18日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるマックレイ株式会社とデジタルサイト株式会社を合併することを決議いたしました。

１．取引の概要

（１）結合当事企業の名称及びその事業の内容

①結合企業

名称　マックレイ株式会社

事業の内容　各種映像（テレビコマーシャル・番組等）の編集、ＤＶＤ・ブルーレイディスク・ＣＧ制作、ＨＤカメラ撮影、イベント・展示会・コンサート等における映像システム・ビジネスプレゼンテーション機器等のレンタル・オペレーションサービス等

②被結合企業

名称　デジタルサイト株式会社

事業の内容　コンテンツ著作権管理等

（２）企業結合日

平成24年12月１日（予定）

（３）企業結合の法的形式

マックレイ株式会社を存続会社とする吸収合併方式で、デジタルサイト株式会社は解散いたします。

（４）結合後企業の名称

名称　マックレイ株式会社

（５）その他取引の概要に関する事項

グループの組織再編を実施することにより、グループ経営の一層の効率化・合理化を図るものであります。

２．実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成20年12月26日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　平成20年12月26日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施いたします。